

1. 伝達の方法

◆コミュニケーションで大切な行動とは？

→(1. )る, (2. )く, (3. )す

◆伝えるために効率的な手段

→言語, (4. )

◆記録するために効率的な手段

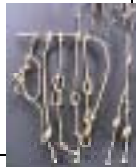
→(5. )の利用

- アウストラロピテクス属(450万～100万年前)
- ホモ・エレクトス(190万～50万年前)
- ホモ・ネアンデルタレンシス(12万～3.5万年前)
- ホモ・サピエンス(10万年前～現在)



Q. 一般的な文字を使わずに表現できますか？

- ①私の握りっ屁は強烈です。
- ②自転車で転び、足を擦りむきました。
- ③つまらないギャグは嫌いです。
- ④バンジージャンプは心臓に悪いです。



◆文字とは？

文字とは、言葉・言語を記録するために(6. )や(7. )を使って形作られた記号、または、そうした一連の記号群により構成された記述システムをいう。記号の単位をどうするかは言語や民族によって異なるため、さまざまな文字が登場した。多くの場合、文字の始まりは物事を簡略化して描いた(8. )文字であり、それが転用されたり簡略化されたりして表音文字となった。

表音文字・・・一文字に意味はなく、発音の意味だけを持つ。アルファベットや(9. )など。

表意文字・・・一文字に発音だけでなく、意味がある文字。漢字や(10. )など。

◆現在の言語と文字の種類

日本語、英語、ドイツ語、フランス語、ギリシャ語・・・などと上げていくと相当な数の言語がある。現在全世界で使われている言語は(11. )種類と言われている。

文字に関しては、日本語には漢字、平仮名、カタカナ、数字などがあるが、他の言語と重複するものもあるため一概に言語と同じとは言えない。(大変な労力を必要とするため、今回調査していない)

2. 世界最古の文字

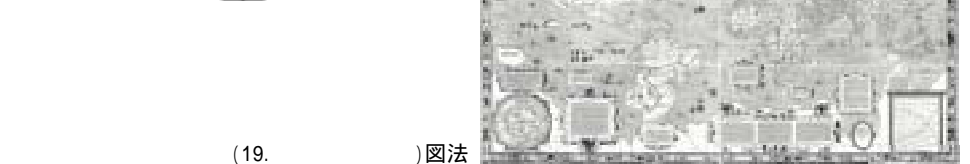
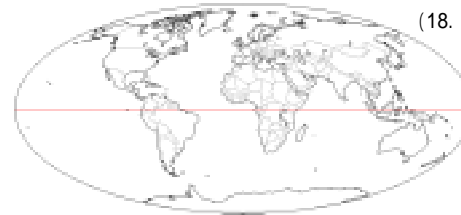
世界最古の文字は、(12. )人(場所は現在のイラク)によって作られた「楔形文字」で、紀元前3500年頃とされている。また、古代エジプトの「ヒエログリフ」の歴史も古く、紀元前3500年に遡る。それらに継いで古いとされるのがインドのインダス文字や中国の甲骨文字とされているが、これら四大文明に使用された文字の、正確な年代特定は非常に困難である。

地域	文明	文字	誕生	備考
チグリス・ユーフラテス川	(13. )	楔形文字	B.C.3500年	
ナイル川	(14. )	ヒエログリフ	B.C.3500年	
黄河	(15. )	甲骨文字	B.C.1500年	
インダス川	(16. )	インダス文字	B.C.2600年	

◆世界地図

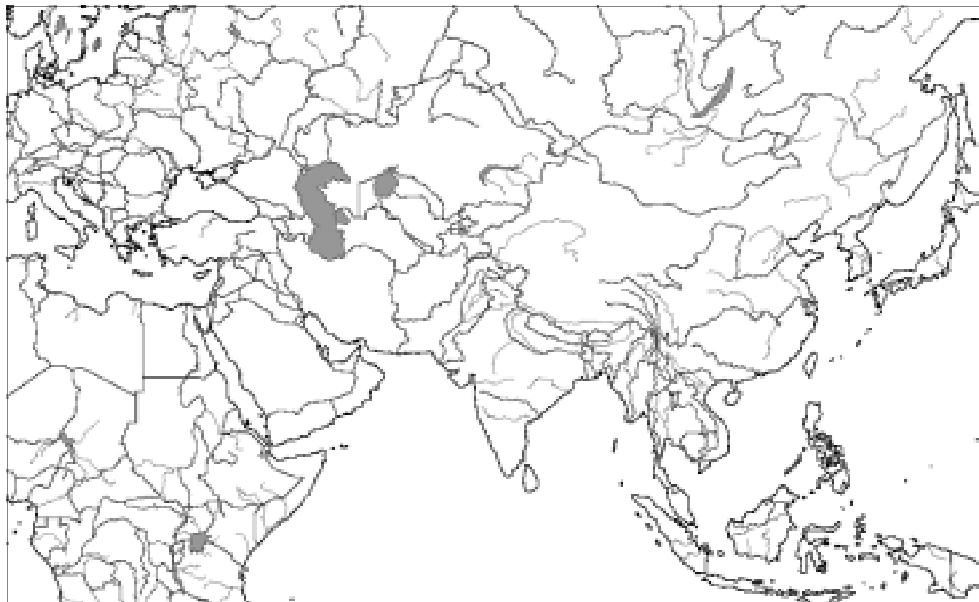


(17. )図法



(19. )図法

Q. 四大文明発祥の地に印をつけよ。



### 3. 楔形文字

- 紀元前3500年頃の(20. )ではシュメール語が使われていたことが確認されている。楔形(「せっけい」とも呼ぶ)文字はシュメール語を記録するために、紀元前3500年頃にシュメール人によって発明され、言語の表記に用いられたものとしては最も古い文字と言われている。
- 元は象形文字としての性格が強かったが、繰り返し使われるうちに、次第に単純化・抽象化されていった。



- (21. )の上に縦の枠を設け、(22. )で作ったペンで書かれた。粘土板を窯で焼くことによって恒久的に残すことも可能だった。
- 楔形文字は次第に近隣の他の民族に借用され、アッカド語、エラム語などに借用されていった。
- イギリス陸軍の士官ヘンリー・ローリンソンが、(23. )のペルシヤにある崖で石碑(ペルシヤ碑文)を発見した。碑文は、ペルシヤ帝国の三つの公用語(古ペルシヤ語、バビロニア語、エラム語)で書かれており、それらをもとにローリンソンはその解読に成功した。

### 4. ヒエログリフ



ヒント:「太陽神ラーが天に昇る」

#### [歴史]

- エジプト初期の歴史を記録するために作られた文字である。紀元前3500年から使われ始めたが、(28. )世紀頃になると識字者がいなくなり、解読が不可能になった。その後、(29. )世紀から解読を試みる学者が現れたが、失敗に終わった。
- (30. )世紀になって、フランス人学者のジャン＝フランソワ・シャンポリオンが、ロゼッタ・ストーンを手がかりにヒエログリフの解読に成功した(1822年)。



#### [ロゼッタ・ストーン]

- ロゼッタ・ストーンとは、1799年に(31. )率いるフランス軍が、ナイル河口の(32. )村から掘り出した黒い玄武岩でできた縦114cm×横72cmの記念碑である。
- ロゼッタストーンには三段に分かれた文字が刻まれており、上から(33. )、(34. ) [民衆文字]、古代(35. )の三種類が書かれていた。これによって当時解読不能だったヒエログリフが理解されるようになった。
- ヒエログリフは彫刻品に刻まれたり、(36. )という植物でできた紙のようなものにも書かれた。



#### [語源]

- ラテン語で、「(37. )」を意味する「ヒエロ」と、「(38. )」を意味する「グリフ」から成り、日本語で「聖刻文字」と呼ばれることもある。

#### [特徴]

- 古代エジプト人たちはヒエログリフをメドゥ・ネチェル「(39. )」と呼んだ。
- ヒエログリフを書いたり彫ったりすることは大変な技術と時間を必要とするため、この文字は、記念碑などの永遠に存続するよう定められた人工物に描かれた。ヒエログリフのほとんどは、墓壁、副葬品、神殿の壁と備品に見られ、誰かに何かを伝えようというよりは、神の言葉と呼んだ通り、精神的な象徴という意味合いが強い。そのようなことも含めて、当時の識字率は低く、4世紀には解読不能になった。
- ヒエログリフは、時代とともに変化し、(40. )としての使用法も生まれた。
- ヒエログリフは横書きにも縦書きにも書かれる。
- 横書きの場合、鳥・爬虫類・人間など、前後のあるサインを目印にして左右どちらからでも書ける。また、彫刻として表現することもできる。

◆右写真はラムセス2世の誕生名(ラー・メス・スー)を表す彫像[カイロ博物館所蔵]  
神は「ラー」と読まれ、王の子供は「産む」を意味するエジプト語の「メス」、植物は「スー」と読まれ、それらを組み合わせて「ラムセス」という名前を構成する。



Q. 自分の名前をヒエログリフで書いてみよう。

	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら
あ									
い									
う									
え									
お									

	(わをん)	ば	が	ざ	だ	ば
あ						
い						
う						
え						
お						

※言語の成り立ちが平仮名と異なるので参考程度に留めること。

名前：

### 5. インダス文字

- インダス文字は合計(41. )字ほどが知られており、印章や銅製小板、護符、土器などの表面に刻まれた。ヒエログリフのロゼッタストーン、楔形文字のベヒスタン碑文のように、他種類の文字で併記されたものがないため、未だに解読されていない。(42. )を手がかりに、右から左へと読まれたと推定される。
- 使用されていた年代は紀元前2600年と言われている。



### 6. 甲骨文字

- 最古の漢字である甲骨文字の歴史は紀元前1500年頃に遡り、(43. )の時代、もっぱら占いの結果を書き込むことに使用されていた。これらは既に現在の漢字の書体に似通っている部分が見られる。言わば、より発展した文字が紀元前1500年にあったと考えると、文字としての使用はそれよりも以前に行われていたと考えられる。
- (44. )の甲羅(腹甲)や牛や鹿の骨(肩胛骨)に刻まれた。その字は絵文字のようであるが、抽象性もすでに高く、十分に文字と呼べる。
- 占いの方法は、甲羅や骨などの裏側に開けた穴に熱した金属棒を差し、生じた(45. )の様子から判断をするというものである。占いの内容やその判断などをその甲羅や骨に記録した。



Q. 次の象形文字は何を意味するだろうか？



※上図左から(46. ), (47. ), (48. )



Q. 次の各文字は、ある漢字の変遷を表したものである。一般的に古いとされるものから順に番号を付けよ。



(49. ) (50. ) (51. ) (52. ) (53. ) (54. ) (55. ) (56. )

7. 世界の言語と日本語

◆見やすさ …次の文字は何語だろうか？

● 我是高梨 (a. )語	● Gracias (b. )語
● Bonjour (c. )語	● ТАКАНАСИ (d. )語
● Κύριε Σε λείδα (e. )語	
● Time is money. (f. )語	
● 안녕하세요 (g. )語	
● J'ai réservé une table au nom de Bouvier. (h. )語	
● ടാတာക്വീ (i. )語	
● தானாசி (j. )語	
● [Redacted] (k. )語	

※文字の見やすさは(64. )によって決まる。

◆文字数

- ・日本語 (65. ) [約50] + (66. ) [約50] = 100 … + 漢字 [最低2000字]
- ・英語 (67. ) [26] + (68. ) [26] = 52
- ・韓国語 母音[21] + 子音[19] = 40

〔私と彼は、大田原にできた新しいレストランでコーヒーを飲んだ。  
わたしとかれわ、おたーらにできたあたらしーれすとらん で こーひー お のんだ。〕

Q. 次の文章を漢字に直せ。

あしたはなみだ。 → (69. ) , 70. )

◆識字率(71. )できる比率

日本国民の識字率は世界第(72. )位。一人あたりの出版物の(73. )も世界第一位。  
→ 識字人口が高い → 文字文化が発展しやすい → 豊かな文学文化を持てる

◆語彙の特徴

あえて比較するならば、日本語は花や虫、(74. )の移り変わりを示す語彙が多く、一方で、自分の(75. )に関するものが比較的少ないそうである。また、日本語を学習する上で、日本語は(76. )や特殊な用法が多いようである。

1. 甲骨文字

2. (57. )

青銅器に彫られた文字で、全体的に丸みを帯びている。この文字は(58. 周 )の時代に盛んに使用された。



3. 小篆(しょうてん)

紀元前221年に中国を統一した秦の始皇帝により制定され、当時の公用文に用いられた。(59. )の裏面の印鑑「発券局長」もその一つである。

4. 印篆(いんてん)

漢の時代、官吏が作った身分証明用の印鑑に使われた。四角の枠内にきれいに収まるよう、小篆文字を正方形に整え直線を多く用いたことが特徴。日本銀行券表面の(60. )「総裁之印」がよく知られている。

5. 隸書(れいしよ)

秦の時代、字形としては美しいが速記に不向きであった小篆は大幅に簡略されて一般に広まっていった。前漢時代(紀元前206～後8)になると正式書体となった。



6. (61. )

隸書と楷書のどちらが元かについては諸説異なるが、より速く書くために簡略された書体といわれている。

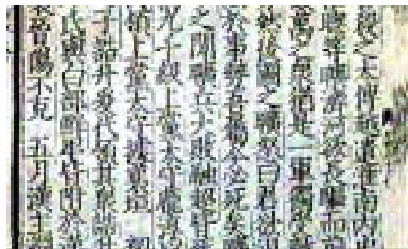
7. (62. )

隸書の極端な省略体である。4世紀の東晋時代に当時の名書家が完成させた。



8. (63. )

諸説がいくつかあり、南北朝(439～589)時代に発達したという説、三国時代(220～280)に隸書から転じてできたという説がある。その後6～7世紀の隋、唐の時代をもって中国の文字が完成した。



◆発音における特徴

漢字は表意的な意味が強く、外国語は表音的な意味が強い。したがって文章を利用する際に機能する(77. )の分野が異なる。そのため、他民族に比べて日本人の外国語習得が遅いという説がある。

8. 文字の記録

◆記録媒体を挙げよ。

(78. ), (79. ), 木, (80. ), 甲羅, 骨, (81. ), (82. )

◆記録をする上で大切なこと

1. 書きやすいこと
2. (83. )やすいこと
3. 恒久的に残ること
4. (84. )やすいこと

9. 紙の歴史

紙とは、狭い意味では、木材などの植物性繊維を(85. )に分散させて、脱水、乾燥の過程を経て、繊維を絡み合わせて作ったシート状のもののことである。

広い意味では、繊維を(編まずに)絡ませて作ったシート状のもののことである(JISではこの定義に近い)。この定義では、繊維は金属、合成高分子化合物などでもよい。また水を使用せずに作製してもよい(乾式)。そのため、広義では不織布は紙となる。(電子辞典より)

【紙の誕生】

◆紀元前2500年

(86. ) [カヤツリグサ科]の髄を重ね、圧着・乾燥したものに記録していた。(87. )の語源にもなっている。しかし、紙の定義により解釈が異なるが、狭義では、パピルスは紙ではない。



◆紀元前141

1957年、中国の西安市郊外の遺跡から紀元前141年以前の紙が発見された。この紙は発見された地名をとって「はきょう紙」と名付けられたが、まだ文字が書けるほどの紙ではなく、麻布と同じように銅鏡などの貴重品を包むのに使われていたと考えられている。

この頃の中国では、書写材料として木簡や竹簡、(88. )などが使われていた。

◆105年

皇帝の命により、蔡倫(さいりん)が「蔡侯紙(さいこうし)」を完成させた。これが歴史上初の紙である。

【中国から東へ】

◆610年

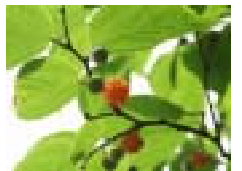
高句麗[現在の(89. )]の僧によって製紙技術が日本に伝えられた。しかし、これ以前に伝わっていたという説もある。



◆702年

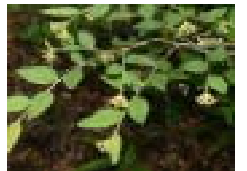
日本で製造された最古の紙は(90. )にあり、楮(こうぞ, クワ科の植物)を原料とした楮紙(ちよし)である。

主な利用方法は(91. )で、これによって紙の需要が増えた。



◆平安時代(794~)

平安時代になると貴族の間で行われた(92. ), 漢文、書などに用いられたが、雁皮(がんび, ジンチョウゲ科の植物)で作られた、より上質な雁皮紙(がんびし)の利用が広まった。



◆鎌倉、室町時代(1192年頃~)

製紙技術も発達し、さまざまな改良が加えられていくが、一般の人たちには手が届かなかった。

◆江戸時代(1603年~)

庶民の間でも利用され、単に記録媒体としてだけではなく、浮世絵、屏風絵、障子、ふすま、傘、提灯などに広く利用されるようになった。

紙に関連する産業や商売も体系化され始め、また、(93. )も使用されていた。

◆明治時代(1868年~)

明治維新以降は、西洋から製紙技術も入り、民間の製紙会社が洋紙の製造を開始した。その後、洋紙の使用量が増えていった。

◆現在

日本の印刷技術、製紙技術は高く、世界第(94. )位の紙の生産をほこる。また、そこには日本国民の識字率、一人あたりの出版物の購入数も世界第一位という背景が密接に関係している。



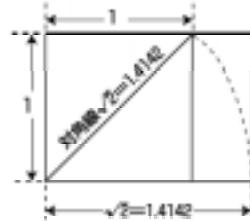
【中国から西へ】

◆751年

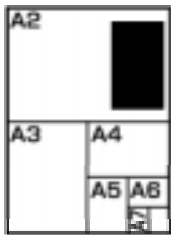
751年7月～8月、(95. )帝国と(96. ) (現在の中国)の戦い[タラス河畔の戦い]があった。この戦いで唐は敗退し、多くの将校が捕虜になった。その中には製紙技術者も含まれており、これにより製紙法が西方に伝播した。

10. 紙の規格

- ・頻繁に用いられるA列、B列の用紙は、(97. )によってどちらも縦と横の比率が(98. : )と決まっている。
- ・さらにこのサイズが変わっても常に比率は同じようになる。
- ・A0の面積は(99. )平方メートル、B0の面積は(100. )平方メートルと規定されている。
- ・このような比率は、人が見たときに見栄えの良い、いわゆる「黄金比」と言われる。
- ・紙にはヨコ目、タテ目があり、破ったり、指でなぞることで(少々難しいが)判別できる。



[A0]



[B0]

